

令和6年度 経営改革プラン

団体名	阪神国際港湾株式会社
-----	------------

設立年月日	平成26年10月1日	
団体の設立目的・沿革	国の国際コンテナ戦略港湾政策の一環として、阪神港の国際競争力の強化に向け、民の視点による効率的かつ一体的な港湾運営をさらに推進するために、神戸・大阪両埠頭会社を経営統合し、業務を開始。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	埠頭施設の整備・管理運営	港湾局港湾計画課、経営課 ほか
	集貨・集客促進	港湾局物流戦略課
	海外港湾の運営への参画	自主事業
代表者	代表取締役社長 木戸 貴文	

役職員数 (令和5年7月時点)	取締役		監査役		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		69	69
神戸市派遣職員	-	1	-	-		7	8
神戸市OB職員	1	-	-	-	1		2
その他	4	4	-	2	6	7	23
合 計	5	5	-	2	7	83	102

財務状況 (単位:百万円)	令和4年度	令和3年度	差引
経常損益	1,024	1,406	▲ 382
税引後当期純利益	704	972	▲ 268
販売費及び一般管理費	1,943	1,531	412
流動資産	17,130	12,775	4,355
流動負債	5,857	4,009	1,848
長期借入金 (固定負債)	27,362	22,479	4,883
期末現金預金残高	10,544	7,393	3,151

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	中期経営計画の着実な実行
--------	--------------

■短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	港勢拡大や機能強化に向けた取組の推進
--------	--------------------

■経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減	令和3年度実績 中小企業実態基本調査 による業種別平均値
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	10.120	7.572	▲2.5ポイント	-6.181
	経常費用 人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	6.64%	7.53%	0.9ポイント	16.38%
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	3.71%	2.25%	▲1.5ポイント	2.61%
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	116.24%	77.36%	▲38.9ポイント	79.63%
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	318.68%	292.47%	▲26.2ポイント	190.67%
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	18.08%	16.68%	▲1.4ポイント	41.84%
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	14.18%	9.28%	▲4.9ポイント	-13.95%
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産)/ 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	15.73%	9.72%	▲6.0ポイント	6.22%

■ミッション工程表

ミッション名		令和6年度						令和7年度～					
中長期的ミッション													
①	中期経営計画の着実な実行	現中期経営計画の着実な実行						次期中期経営計画の着実な実行					
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
①	港勢拡大や機能強化に向けた取組の推進	利用者ニーズを的確に汲み取り、時宜に即応した施策を検討・実施											

■ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	団体目標	<p>【KPI】※いずれも阪神港としての目標</p> <p>①コンテナ取扱貨物量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内シェア 22%以上の維持・拡大 ・取扱貨物量 550万TEU以上 <p>②国際基幹航路等の輸送力の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際基幹航路 9万TEU以上/週 ・国際フィーダー 7千TEU以上/週 <p>③安定的な財務体質の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率 10%以上確保 <p>④代表的な施設整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸港コンテナターミナル（PI 2期）機能強化 ・CONPAS等テクノロジーの進化に対応した効率化施策の順次導入
	①集貨及び創貨施策のさらなる強化	
	・国際基幹航路の維持・拡大	
	・西日本諸港との港湾間ネットワーク強化	
	・外航船社の動向・ニーズを踏まえた集貨策の推進	
	②生産性・資本効率を伸ばすターミナルシステムの構築	
	・コンテナターミナルの機能強化	
	・港湾におけるDXを通じたさらなる生産性の向上	
	・災害をはじめとしたあらゆるリスクに強いターミナル運営	
	・物流効率化につながるフェリー・ライナー機能の強化・維持	
・カーボンニュートラルポート（CNP）形成に向けた取り組み		
③機動的かつ安定的な経営の実現		
・経営基盤の強化		
・人材育成と組織づくり、コンプライアンス		
・経験・技術を活かした海外事業展開		
・社内におけるDXの推進		

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口 | <input type="checkbox"/> 経営懇談会 | <input type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修 | <input type="checkbox"/> 民間代替性調査 |
| <input type="checkbox"/> 専門家紹介制度 | | <input type="checkbox"/> 経営診断 | <input type="checkbox"/> 企業統治状況調査 |